

―― 昨年の取り組みは。

☆一つには、マルチタスクの導入を本格化させたこと。社員それぞれが経理・営業・業務・現場など自分の持ち場のことだけ専念するのでなく、例えば経理の人が営業もできるようにするなど風通しを良くした。

これだと、ある部署が忙しいときに助けることもできる。何よりも社内の活性化につながった。

―― 昨年の取り組みは。

☆一つには、マルチタスクの導入を本格化させたこと。社員それぞれが経理・営業・業務・現場など自分の持ち場のことだけ専念するのでなく、例えば経理の人が営業もできるようにするなど風通しを良くした。

―― 昨年の取り組みは。

☆一つには、「イーソーコ」担当者がその場にいなくて担当者も進められるよう「営業の見える化」を推進している。それには既存にあるITツールのシートの見方のマニュアルやスタジオなどは



遠藤 文氏
イーソーコ株式会社
代表取締役

新たな収益源を発掘

ことも可能。一方で、原状回復や改修などの工事も提案している。

―― 今年の取り組みは。

☆月から三月にかけてグループ会社のイーソーコドットコムが、「これからは倉庫で儲ける」というタイトルの本を出版する予定。物流不動産ビジネスのノウハウを公

開することで、物流企業の新たな収益源の発掘を一緒に結びつけるさまざまな提案を行っており、そうした

―― 今年の取り組みは。

☆月から三月にかけてグループ会社のイーソーコドットコムが、「これからは倉庫で儲ける」というタイトルの本を出版する予定。物流不動産ビジネスのノウハウを公

開することで、物流企業の新たな収益源の発掘を一緒に結びつけるさまざまな提

案を行っており、そうした

―― 今年の取り組みは。

☆月から三月にかけてグループ会社のイーソーコドットコムが、「これからは倉庫で儲ける」というタイトルの本を出版する予定。物流不動産ビジネスのノウハウを公

開することで、物流企業の新たな収益源の発掘を一緒に結びつけるさまざまな提

案を行っており、そうした

―― 今年の取り組みは。

☆月から三月にかけてグループ会社のイーソーコドットコムが、「これからは倉庫で儲ける」というタイトルの本を出版する予定。物流不動産ビジネスのノウハウを公

開することで、物流企業の新たな収益源の発掘を一緒に結びつけるさまざま